

資料1 1.(2) への対応

資料2-1 タグ情報登録実施者からいただいた意見 への対応

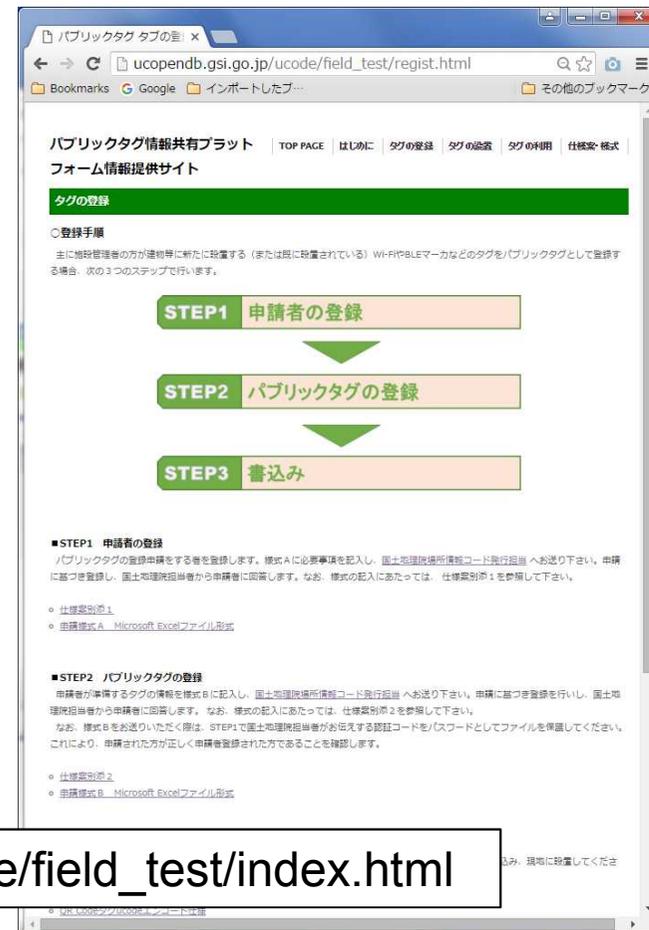
登録の間口の拡大に向けた 対応状況と今後の取り組み

平成27年12月18日

- 「目的や習熟度に応じたページ・コンテンツ作りが必要」への対応
- タグ情報登録実施者の意見等を踏まえ実証実験向け専用サイトを改修した。

- ・ サービスコンセプトやサイトの概要を記載

- ・ 手続きフローに習熟度毎の対応箇所を明記
- ・ 手続きフローと使用する様式の関係性を明瞭化



http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field_test/index.html

■ 「地図で緯度経度を取得できる事を明示」への対応

- Webブラウザで国土地理院の地図や空中写真が見られる「地理院地図」に、表示した場所の場所情報コードを表示する機能の追加を行った。

機能から「場所情報コード」を選択



The screenshot shows the GSI Maps app interface. A search bar at the top contains the text '例：駒岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度'. A menu is open over the map, listing various functions. The '場所情報コード' (Location Information Code) option is highlighted with a red border. Other options include '情報', '機能', '表示', 'ツール', '3D', '作図・ファイル', '計測', '現在位置', '共有', '印刷', and '他のウェブ地図'.

指定位置の論理場所情報コードを表示

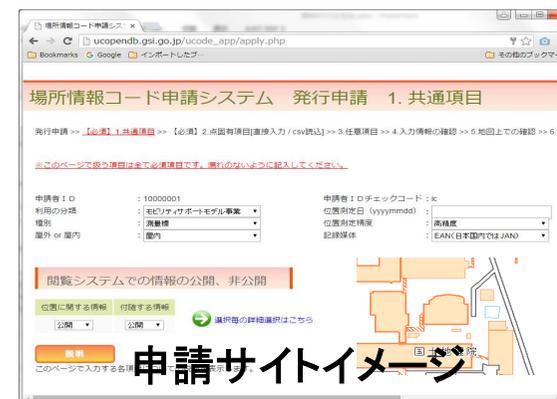


The screenshot shows the GSI Maps app interface displaying the location information code for a specific location. The code is **00001B000000000309EA98A679B1FFC0**. Below the code is a QR code. The map shows the location of the GSI building. The text below the QR code reads: '地理院地図の中心位置、北緯36° 6'16.1"、東経140° 5'04.3"で、高さ(階層)が 屋外 の場所情報コード：'. Below the QR code is a small map showing the location of the GSI building. The text below the map reads: '場所情報コードとは？ 特定の場所にあるモノと情報を結び付けるためのコードです。緯度、経度、高さ(階層)で決まる空間を表す数字と、その空間内の通し番号から構成されています。詳しくは、場所情報コードのページを参照してください。 Copyright. Geospatial Information Authority of Japan. ALL RIGHTS RESERVED.'

■ 「地図から登録できるシステム作成」、「直感的インターフェイスで使いやすさ向上」への対応

- 既存システムは、申請様式をテキストファイルに変換しシステムに入力する作業が必要であるため、申請と同時に登録(リアルタイム登録)することができない。
- 申請サイトやアプリを開発し、地図から場所を指定できるようにしても、その内容を様式にして送信する必要があり、使いにくさが残る。
- このため、既存システムを改修し、申請者がリアルタイムに登録できるシステムの作成を予定。
- その上で、地図等で場所を指定できる申請サイトを作成することを検討中。

「地図上でタグの場所を指定し、そのままリアルタイムに登録」を可能とするサイト



■ 「緯度経度による登録を必須としない登録」への対応

● 登録申請APIの開発を予定

- ✓ 一般的なインターネット地図やジオコーディング技術を活用した申請が可能に。(ただし、申請サイトやアプリが別途必要)
- ✓ これにより、申請者は緯度経度を意識する必要がなくなる。
- ✓ また、測量のデータコレクタから直接登録するなど、外部システムとの連携が可能に。

